

## 2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 岐阜県立恵那高等学校 ] 担当教諭名 [ 夏目 佳代子 ] ( 英会話部 9名 )  
 相手国・地域 [ スリランカ ]

海外学校名 [ BT/Vincent Girls' High School ] 担当教諭名 [ Sujana Lerociyan /和田さとみ(JICA) ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教 科	単 元 名	時間数
	部活動	アートマイルプロジェクト	70

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	国境のない海(Borderless Oceans)
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	私たちはみんな海を通してつながっている。そのつながりを守り、維持していくために一緒に活動していこう。(We are all connected through the oceans, so we must work together to protect and preserve that connection.)



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本とスリランカでは、様々な違いはあるけれども、それを肯定的に受け入れ、理解することができた。自分たちの国や地域についても新しい発見があった。</li> <li>SDGs14を共通のテーマにして学ぶことで、世界が抱える課題やその解決策について考えることができた。両国が抱える課題、そして海に対する思いは同じだということに気づくことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時差や学校行事などで時間が合わず、テレビ会議がなかなかできなかった。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>言語のちがいがあっても、分かり合ったりつながったりすることができるということに気づいた。</li> <li>自分たちの国では当たり前のことも、他の国はそうではないことに気づいた。</li> <li>相手国や人に対しての親近感がわき、もっと知りたい、行ってみたいという思いをもった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スリランカの中にも、言語や宗教、文化の違いがあることなど、アートマイルでの交流でなければ分からないことがたくさんあった。</li> <li>世界が抱える課題や SDGs について理解を深め、生徒が主体的に学べるようなアクティビティを考えることができた。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	7月 ～ 9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介ビデオ撮影</li> <li>恵那高/恵那市/岐阜県紹介プレゼンテーション作成、ビデオ撮影ビデオはフォーラムにアップした。</li> <li>スリランカについて学ぶ。</li> <li>テレビ会議で自己紹介し合う。</li> </ul>	<p>自分たちの地域の魅力に改めて気づくことができた。また、日本のことをよく知らない人に対して分かりやすく紹介するにはどうしたらよいかを考えてプレゼンテーションを作成できた。</p> <p>スリランカの文化について学ぶ中で、新しい発見や日本との共通点を見つけることができた。スカイプでリアルタイムで話ができ、写真やビデオ以上に伝わってくるものがあった。</p>	部活動
共有 テーマ学習	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsについて学ぶ。</li> <li>SDGs ゴール14「海の豊かさを守ろう」を共通のテーマにし、自国の現状、課題について調べたことをレポートにまとめる。課題が生まれた原因や Goal14を達成するために大切なことを考える。</li> <li>学んだことはフォーラムで交流した。</li> </ul>	<p>&lt;生徒の振り返りより&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜県には海はないけれど、海の問題は国が違っても全員に関係する大切なことだから、目をそらさないことが大切だと思った。</li> <li>海は、日本とスリランカでちがうけれど、海に対しての思いは同じだということが分かった。</li> </ul>	部活動
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>Goal14が達成された世界を絵で表現する。</li> <li>壁画に込めるメッセージとタイトルを考える。</li> <li>壁画の構図とデザインを考える。</li> <li>話し合ったことをフォーラムにアップした。</li> </ul>	<p>部員全員で話し合い、壁画に込めるメッセージとタイトルを考えることができた。絵を描くことに苦手意識をもっている生徒も多く、どのように絵で表現するかが難しかったようだが、メッセージを具現化したデザインを考えることができた。</p>	部活動
創造 壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>壁画の作成</li> <li>メッセージカードの作成</li> <li>メッセージカードは壁画と一緒に送った。</li> </ul>	<p>色づくりに苦戦していたが、全員で分担し、丁寧に作成することができた。</p> <p>&lt;生徒の振り返りより&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵を描く中で、「自分たちは海を守るために何ができるのだろう」と考えることができました。</li> <li>海に関する問題は日本だけでなくスリランカにもあり、世界中の人々が解決のために協力する必要があると思う。そういう願いを”Borderless Oceans”に込められたのでよかった。</li> </ul>	部活動
評価 振り返り 自己評価	12月 ～ 3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>(12月)フォーラムを見返してこれまでの学習を振り返る。</li> <li>(1、2月)フォーラムで相手校の壁画作成の様子を知る。</li> <li>(3月)届いた絵を鑑賞し、メッセージを書いて送る。プロジェクト全体の振り返り。学校に壁画を展示。生徒同士でフォーラムでやりとりをした。</li> </ul>	<p>届いた壁画を見て、壁画を一緒に創り上げられたことを喜び、達成感を味わった。工夫して作った空の色を、相手校の生徒が同じ色を作って塗ってくれたことに感動していた。また、スリランカの生徒たちがどんな思いを込めて壁画を描いたかを考えることができた。壁画に描かれていたスリランカの固有種の魚や生き物に驚いたり、違いを見つけたりした。</p>	部活動

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	5	・地域紹介のプレゼンテーションを作成する際、自分たちの地域について調べる中で新しい発見があり、魅力に改めて気づくことができた。また、スリランカの文化と比較することで、自文化への理解が深まった。
異文化を理解する力	5	・相手校からの地域紹介ビデオを熱心に見て、違いや共通点に気づくと共に、さらに知りたいという思いが出てきた。自分たちにとって当たり前のも、相手にとってはそうではないことに気づき、相手国を肯定的に理解することができた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	・テーマについて調べたことや、相手から質問されたことについて、パワーポイント、レポート、ポスターなどの方法でまとめ、伝えることができた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	・相手校からのメッセージに対して英語で返信を書いたり、ビデオメッセージで返信したりし、交流が進むにつれて相手校の1人ひとりの生徒をより意識するようになった。交流は英語で行ったが、相手校の生徒たちの母国語であるタミル語にも興味をもつことができた。スカイプでは、緊張もあってなかなか言葉が出てこない場面もあった。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	・地域紹介のプレゼンテーションなどを見て、相手国との違いと共通点について考えることができた。SDGsについて学んだことから、自分の生活について考え直すことができた。
主体的に考え行動する力	3	・自分で考えて行動することができるようになってきた生徒と、指示を待ってしまう生徒がいた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	・学年を超えて部員全員で意見を出し合い、協力して壁画を制作することができた。スリランカの生徒と協働して壁画を完成させたという実感があった。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	・共通のテーマで学んだことから、世界へのメッセージやタイトルを考えることができた。絵を描くことに苦手を感じる生徒も多く、想いを絵で表現することに難しさを感じていたが、メッセージが伝わるように制作に取り組むことができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	5	・届いた壁画をじっくり鑑賞し、相手校が壁画に込めた思いを十分に感じることができた。描かれていた海の生物を比較しながら鑑賞し、スリランカへの理解がさらに深まった。 ・これまでの学習を振り返り、自分たちについた力と今後さらに取り組んでいきたいことを考え、共有することができた。